

もっと語ろう！認知症

2025年には高齢者の
5人に1人が認知症になると
いう推計があります

認知症に対する思い込みや偏見はありませんか？「何もわからなくなる」といった先入観を持たず、その人ができることに目を向けることが大切です。

認知症の原因・症状や支援の仕方について学ぶことは、自分にとっても家族にとっても地域全体にとっても、大切なことです。本を読んだり、認知症サポーター養成講座を受けたりしませんか？

認知症の人への対応の心得

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない
- 4 否定しない

具体的な対応の7つのポイント

- ①まずは見守る
- ②落ち着いて対応する
- ③目線を合わせて、やさしい口調で
- ④おだやかに、はっきりした話し方で
- ⑤声をかける時は1人で
- ⑥後ろから声をかけない
- ⑦相手の言葉に耳を傾けて
ゆっくり対応する

周りの人が「あれ？」と気づくことが重要です。早めに気づいて、支援体制を整えることで、進行を緩やかにすることができます。本人が一番に気付くと思いますが、ショックで受け入れられないことも多いので、早期治療やトレーニングのために、近くで支える存在になりましょう。

認知症の相談窓口をご存じですか？

「予防するにはどうしたらいいのかな」「家族が認知症で介護サービスを利用したい」「どうやって対応したらいいかわからない」といった疑問や困りごとがありましたら、お気軽にご利用ください。

◇芦北町地域包括支援センター ☎86-2270

◇芦北町役場福祉課介護高齢者福祉係 ☎82-2511

◇熊本県認知症コールセンター（ほっとコール） ☎096-355-1755

◇若年性認知症の電話相談 ☎0800-100-2707

私たちの地域の目66で、ひとり歩きの高齢者をサポートしましょう！

ただ、散歩しているだけかもしれないけど…
気になるなあ。



帰り道がわからなくなった場合も、
出掛けた目的や理由がないとは限りません

そんな時の声掛け判断ポイント

- ・夜中や早朝にとぼとぼ歩いている
- ・脇目もふらず、一目散に歩いていく
- ・寒いのに薄着、暑いのに厚着、パジャマ
- ・陰しい表情やボーっとした表情に見える
- ・キョロキョロ辺りを見回している
- ・雨の日に傘をさしていない、靴を履いていない
- ・手ぶら、あるいは、大荷物を持って歩いている
- ・車道を歩いたり、路肩に座り込んでいる

よし！ **具体的な対応の7つのポイント** を参考に声をかけよう （必要に応じて家族や警察に連絡）

【お問い合わせ】芦北町役場福祉課介護高齢者福祉係（内線155）